NoRaと九つの「見えなさ」

UFOALIENS.INFO

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

原版のページ 1 / 1



原画

コマの中の文章

NoRa — ジョルダーノ・ブルーノに寄せる九つの盲目

語り・頭だけでなく魂で読む本がある。ジョルダーノ・ブルーノは『英雄的狂気』（De gli eroici furori）で、真理を覆い隠す九つの盲目を描いた。

語り・人は肉体の目だけでなく、とりわけ精神や知性の目でも見えなくなることがある。

語り・原因はそれぞれ違う。それでも、至高の真理や神の光、世界の真の姿を見る妨げになる点では同じだ。

九つの盲目

看板の文字・欠如・強すぎる光・習慣と教条・激情・無知・傲慢・恐れ・偽りの目標・神秘的な恍惚。

生まれつきの欠如による盲目

物質的な肉体に縛られた魂は、純粋な霊の光を感じ取れない。それに必要な感覚、あるいは成熟した知性が足りないのだ。

強すぎる光による盲目

光が強すぎて目がくらむことがある。真理と神性はあまりにまばゆく、私たちのまなざしを凍りつかせ、見えなくする。

習慣と教条による盲目

伝統や昔からの権威、問い直されることのない教条が、自分自身の理性でものを見るのを妨げる。

激情による盲目

感情や低俗な衝動、自己中心的な考えが心を曇らせ、澄んだ理解を妨げる。

無知による盲目

自分が知らないことにさえ気づかない状態。諦めが受け身の態度を生み、魂をとらえて放さない。

傲慢による盲目

最大の盲目は、もうすべてが見えていると思い込むことかもしれない。盲目を究めた人は新たな目で、真理のさらに奥を見る。

恐れによる盲目

未知への恐れ、宇宙の無限への恐れ、権威に罰せられる恐れが、人を真理から遠ざける。

幻への執着による盲目

はかない物や人の評価、この世の名声にしがみつく。真に価値あるものを求めながら、見失ってしまう。

神秘的な恍惚による盲目

探求者は手の届かない絶対者への憧れに深く沈み、現実の世界とのつながりを失う。神だけを見たいと願うがゆえに、逆説的にも世界には盲目になる。

この九つの盲目を乗り越えることは、心が浄められる過程をたどることだ。

上なるものは下なるもののごとし。

心が浄められると、新しい目が生まれる。

すると、汎神論のまなざしで世界を見るようになる。自然と宇宙のあらゆる粒子に、神の原理と無限を見る。

出典・クレジット

原版PDF・関連資料